

		これまでの荒川区清掃審議会における意見等	新たな計画策定に向けた中間のまとめへの展開案	
家庭系	普及啓発の充実	<b>(1) 環境教育・環境学習の充実について</b>		
		リサイクルはごみ減量化だけではなく、消費エネルギーの大きな抑制にもつながるということを教えることで、家庭に持ち帰り、家庭での啓発にもつながる。	更なるごみ減量に向けては、その第一歩としての「発生抑制」が大切であり、また、ごみ減量・リサイクルがエネルギー発生抑制にもつながることを分かりやすく普及啓発していく必要がある。	
		サーマルリサイクルがスタートではなく、発生抑制が大切だということをきちんと教える。		
		3Rや分別、物の大切さを教える。子どもが一生懸命取り組むと、親もより一層取り組む。		
		<b>(2) PRについて</b>		ごみ減量・3Rの普及啓発に当たっては、区民の関心に届くよう、行政側の工夫を凝らした演出なども必要である。また、区民が楽しみながら取り組むという視点も不可欠である。
		ある自治体でキャラクターをつくり、着ぐるみを着てPRをしている。こういったPRは参加者に興味を持ってもらえるし、行政も頑張っているから協力しようという気にもなる。そういったことも参考にして、真面目におもしろいPRを要望する。		
		牛乳パックを切って作った座いすなど、創作物を作っているところがあるので、楽しみながら取り組むという視点で、展示会的なものを開くとよい。		
		分別したごみ・資源の行方、色々なごみ処理に関する法体系をわかりやすく、区民・事業者にも周知することも大事である。	区報・ホームページ・各種イベントなどを活用し、区民や事業者と清掃リサイクルに関する情報の共有化を推進する必要がある。	
		リサイクルショップやウエス・布へリサイクルしてくれる場所、フリーマーケット開催の機会など、自分が着ない洋服をどこへ持って行けばいいのか迷うことがあるので、住民が出しやすくなる情報提供が大事である。		
		職員が町会の活動に参加して、色々な啓発をすることも1つの手だと思う。		
		<b>(3) 外国人・転入者について</b>		外国人への普及啓発については、多国籍化への対応として、例えば国籍を問わずに理解できるようイラストを有効に活用したパンフレットを作成するなど、更なる対策を進める必要がある。
		ごみの捨て方についての周知用に英語、中国語、韓国語のパンフレットはあるが、アラビア語等への対応がとれていない。また、オートロックの場合、直接住民と話せない問題をどうクリアするのも必要な検討課題である。		
		荒川区がチラシやごみの捨て方について啓発をしても、分別が非常に悪く、十分理解できていないのが現状だと思う。外国人に対しての啓発、印刷物の工夫、あるいは一度注意してもらったほうが良いと考える。		
		住民の増加に伴い、不法投棄や分別の悪さなど、周知が行き届かないのかルールを守らない人も増えている。	単身者、ファミリー層それぞれのライフスタイルにあわせた効果的なPRを実施していく必要がある。	
		20代の分別問題は、不動産屋か大家さんに協定してもらい、契約時等にチラシの配付をする。		

<b>(4) その他</b>	
<p>荒川区低炭素地域づくりの計画もあわせて考えなければいけない。CO<sub>2</sub>を2020年度に2000年度比で25%削減する目標となっている。この達成に大切なのは、3Rの実施だが、特にリサイクルが大切だということを、いま一度啓発する必要がある。</p>	<p>新たな計画策定に当たっては、環境基本計画や荒川区低炭素地域づくり計画などとの整合を図る必要がある。</p>
<p>3Rに取り組んでいるお店を3R協力店のような形で登録し、積極的にPRを行い、地域活性化にもつなげることが大事だと思う。</p>	<p>家庭系ごみの更なるごみ減量に向けて、容器包装プラスチックのリデュース・リユースの具体的取組として「レジ袋の削減」などを行う必要がある。</p>
<p>リユース食器の貸し出しに取り組んでいる区があり、荒川区でも取り組めないかと思う。</p>	
<p>レジ袋の有料化がスーパーで最近多い。実態ほどの程度か、荒川区全体で調査できればいい。</p>	
<p><b>資源の回収品目の拡大</b></p> <p>環境先進区を掲げ、リサイクル業者が集積している荒川区としては、今回の計画で更なる資源の品目拡大を目指していただきたい。</p>	<p>家庭系ごみの更なるごみ減量に向け、資源回収品目の拡大を目指して「古布」や「廃食用油」など他自治体で回収実績のある品目について、区民が参加しやすい仕組みの検討を行う必要がある。また、燃やすごみの4割以上を占める生ごみ減量に向けた3R推進についても強化すべきである。</p>
<p>廃食用油などはたくさん場所で実施すると大変なので、幾つかの拠点を使い、地域の集団回収グループなどで協力を募り運営するなど、実施しやすい手法の検討をしていただきたい。</p>	
<p>他自治体で実施している回収品目について、荒川区での実施の可能性を検討していただきたい。</p>	
<p>量が多い生ごみの回収と資源化に取り組めれば、減量効果も大きいので、生ごみの回収と資源化について検討していただきたい。</p>	
<p><b>廃プラスチック類のリサイクル</b></p> <p>技術革新が進み、燃やしても迷惑がかからないことを科学的に啓発していく必要がある。</p>	<p>サーマルリサイクルに関する情報について、清掃一組と連携を図り、引続き情報発信していく必要がある。</p>
<p>燃やして熱回収をしても、環境的に大丈夫な設備も整ってきているので、最終的に燃やすのであれば、きちんとサーマルリサイクルで熱回収をする。</p>	
<p>容器包装プラスチックだけではなく、世の中には製品プラスチックが沢山あるが、容器包装リサイクル法の対象となっておらず、もったいないということで、容プラと製品プラをあわせた制度設計の検討が課題視されている。</p>	<p>区長会を通じて、国などへ、制度の改善や財政措置の充実等について継続的に働き掛けていく必要がある。</p>
<p>容器包装リサイクル法では住民が分別排出し、自治体が集め、メーカー、利用事業者のお金で再商品化する役割分担となっている。ただしメーカーや利用事業者に比べ、自治体が使っている金額が非常に大きいので、もう少しいいシステムにならないかと、色々な議論が進んでいる。</p>	
<p>メーカー責任割合が環境先進国と日本の違いだと思う。そこを根本的に直すことができればごみも減るだろうし、逆にそこを倣わなければごみは減らないだろうと思う。そのために荒川区として国なり、メーカーなりに申し述べていかなければならない。</p>	
<p>新しい回収ルートをつくるのは非常にコストがかかる。最終的な部分で熱回収をアップすることはすばらしいが、荒川区らしいやり方をつくり、全国に提案するという可能性もあるので、何かできたらいいと感じている。</p>	

家庭ごみの有料化	<p>大胆な減量をするとき、色々な仕組みの1つとして、全国で真剣に取り組む自治体が増えている。取り組むと約1年でごみが3割ぐらい減るというデータが明確に出ている。</p>	<p>家庭ごみの更なる減量化に向けて、ごみ有料化の導入の方向性の検討が必要である。一定のごみ減量効果や負担の公平化が図られる一方で、新たな費用負担が生じ、不法投棄の危惧もある。区民の納得につなげるためには十分なごみ減量化施策を実施することも不可欠であり、導入に際しては隣接区への影響を配慮するなど23区が調整・連携して行うことが望ましく、料金体系・課金媒体・課金媒体の流通方法等についても検討する必要がある。</p>	
	<p>特区制度改革のときに、清掃事業が最も基本的な自治体のサービスだと、これが試金石だと散々議論していた。基本的サービスを何で賄うかという原点をもう1回考えながら、議論をしていければと思う。</p>		
	<p>荒川区だけが実施すると不法投棄が周りの区に行ってしまうから、23区全体の問題として、同じレベルで実施するという前提、その辺を十分検討することが望ましい。</p>		
	<p>ライフスタイルの変化として、全員が本気になること、簡易包装の製品、詰めかえ容器を買うようになる。容器の少ないものをつくれればそれが売れるので、メーカーも変わってくる。</p>		<p>ごみの有料化の導入の方向性として、容器包装の軽量化や簡易包装など事業者による発生抑制に対するインセンティブにつながる普及啓発も必要となる。</p>
事業系	事業系ごみの減量対策	<p>家庭系は町会にお世話になりご苦労もかけているけれども、事業系は行政がしっかりと徹底的に指導しなければいけない。</p>	<p>排出状況を把握、「ごみ減量に向けた普及啓発」と「排出方法・適正排出の指導」の両面からの取り組みが必要である。</p>
		<p>現在、1日平均50キロ未満の事業者は処理券を張ることになっているが、基準を見直し数字を下げることで、自分は事業者だと再認識してもらいやり方もある。</p>	
	<p>例えば紙なら紙をうまく全体を処理するだとか、特性がありますよね、産業、地域の工場の集積によって。何かそういうのも新しい視点で出したらいいと思う。</p>	<p>区の地域特性や業種ごとの取扱品目を踏まえた、新たなリサイクルの仕組みづくり等の検討を行う必要がある。</p>	
	<p>飲食店1軒1軒だと生ごみの法律、義務化にも入っていないと思うので、区がリサイクルの仕組みを提案するとか、民間のやり方を応援、徹底する、そういうこともあっていいと思う。</p>		